

2019（令和元）年度

# 事業報告

## 人間性の尊重と

### ノーマライゼーション

一人ひとりの人格と人権を尊重し  
健康を守り、明るく、楽しく安心  
して日常生活ができるように支援  
して行きます

tai kei kai

社会福祉法人 大恵会

法人 本部：栃木県日光市板橋 2190 番地 2（特別養護老人ホーム今市ホーム内）

電話 0288-27-0361 FAX 0288-27-0362

法人事務局：栃木県日光市今市 1086 番地 2（特別養護老人ホームひかりの里内）

電話 0288-30-3911 FAX 0288-30-3912

◆法人概要

法人名称	社会福祉法人 大恵会	
主たる事務所	〒321-1102 栃木県日光市板橋 2190 番地 2 電話 0288-27-0361 ファクシミリ 0288-27-0362	
理事長	石川サト子	
理事	石川サト子 (理事長) 石川玄子 (医師・老人保健施設陽南施設長) 田中敏夫 (報徳会宇都宮病院事務長) 斎藤泉 (今市ホーム施設長) 岩原真 (ひかりの里施設長) 坂下一樹 (晃明荘施設長)	
監事	平野敦子 (平野歯科医院事務) 鈴木法子 (元日光市役所職員)	
評議員	松本幸雄 (元会社役員) 神林すみ子 (地域代表) 福井えみ子 (宇都宮大学教授) 福田順子 (ボランティア代表) 新沢敏章 (医師) 江田明広 (地域代表・元入居者家族) 荻津守 (済生会宇都宮病院職員)	
事業区分	1. 第一種社会福祉事業 ・特別養護老人ホーム ・養護老人ホーム 2. 第二種社会福祉事業 ・老人デイサービス事業 ・老人介護支援センター ・老人短期入所事業 ・老人居宅介護等事業 ・障害福祉サービス事業 ・移動支援事業 ・認知症対応型老人共同生活援助事業 ・小規模多機能型居宅介護事業 3. 公益事業 ・居宅介護支援事業所 ・訪問入浴介護事業 ・配食サービス事業 ・生活支援ホームヘルプ事業 ・地域包括支援センター事業	

## 1. 事業の経過及びその成果

### 今市ホーム拠点

#### 特別養護老人ホーム

- ・稼働率 90.4%、前年比 1%増加。下半期の入院者数の減少によるもの。平均年齢 84.45 歳、平均介護度 3.6。現在入所待機者は 60 名。

#### 短期入所生活介護

- ・稼働率 56.8%、前年比 2%減少。新規利用者の減少、定期利用者の入院や施設入所によるものと考えられる。

#### 訪問介護

- ・ケアプランに沿って人権や自己決定を尊重し質の高いサービスの提供が実施された。
- ・利用者、職員、関係機関への報告・連絡・相談が円滑に実施された。
- ・サービスの統一化とヘルパーの技術向上に向けては至らず。

#### 訪問入浴

- ・4月末 休止予定

#### 居宅介護支援事業所

- ・適切なアセスメント、計画を立案し利用者、家族、その他関係機関との連絡調整を図ることができた。

#### 地域包括支援センター

- ・関係機関の役割理解を促進し、事例の共有を通し個別支援の質の向上に努めた。

#### 通所介護

- ・稼働率 67.3%、前年比 3.9%の減。施設への入所、入院によるもの。
- ・利用者の立場・視点に立て、利用者様本位の対応を心掛けた。
- ・利用者、家族、その他関係機関との協働により的確な計画作成がされた。
- ・利用者の送迎後にサービス内容の向上を目指し、職員検討会を毎日実施している。

### ひかりの里拠点

#### 特別養護老人ホーム

- ・稼働率は 93.4%、前年比プラス 2.3%。欠員理由は入院によるもので昨年同様となっている。
- ・平均年齢は 88.8 歳、平均介護度 3.4。

#### 短期入所生活介護

- ・稼働率は 88.6%、前年比プラス 7.7%。空床利用や急遽の受け入れを行い柔軟な対応を継続した結果である。

#### 通所介護

- ・稼働率は 86.9%、前年比プラス 6.2%。医療度の高い利用者の受け入れ等行った結果稼働が維持できた。日光医療センター(リハビリテーション部)と ICT を活用したリハビリテーションの臨床研究への実施。※コロナウイルスの影響で中断

#### 居宅介護支援事業所

- ・令和元年度の利用者数合計は、要介護者 751 件(対前年度比 106%) 事業対象者及び要支援者 116 件

(対前年度比 79%)となっている。新規利用者は 21 件、終了者(死亡・施設入所・長期入院・地域包括支援センターへの移動等)23 件と、ほぼ同数となっている。新規利用者の紹介経路は、医療機関、地域包括支援センターが約半数を占め、それ以外は利用者の家族や親族、民生委員等となっている。日光市内の居宅ケアマネジャー不足はまだ解消されておらず、担当上限数を超えないように他事業所を紹介することが多かった。また、認定有効期間が延びたことにより(24 か月・36 か月) その認定期間内に心身状況が悪化し区分変更申請を行うケースが増えた。更新申請の結果、要支援認定を受けた利用者に関しては地域包括支援センターへ移動し、要介護認定を受けた利用者を受け入れるように心がけた。

#### 認知症対応型共同生活介護（ひなた）

- ・利用者様の、“今”自分ができていることを維持するため、一人ひとりの健康状態・動作・認知症の度合いを把握し、その人に合った声掛け・支援を行い、その結果自分でできることは維持できている。
- ・細やかな観察をすることにより、異常を早期発見し、家族・主治医と連携を取り、治療につなげて悪化を防ぐことに至っている。

#### 晃明荘拠点

##### 養護老人ホーム

- ・稼働率 62.1%、前年比 7.1%減少。措置者数平均 70.8 人、前年比 9%減。入院者の増加及び措置者数の減少によるもの。平均年齢 84.3 歳。
- 平均入院者 19.2 人、前年度比 2.5%の減少。

##### 特定施設入居者生活介護

- ・稼働率 62.0%、前年比 7.5%減少。高齢化に伴い体調の不安定さが目立ち入退院を繰り返していることが要因。平均要介護度等は 2.28。平均年齢 81.4 歳。

##### 認知症グループホームみょうじん

- ・稼働率 82.8%。3 名の長期入院があり稼働率が低下。現在入居待機者は 6 人、平均年齢は 86.1 歳、平均要介護度等は 2.6。

##### 共用型通所介護みょうじん

- ・稼働率は 61%、前年比 17.6%増。重度の認知症利用者の受け入れや広報などの営業努力によるもの。

##### 小規模多機能型ホームみょうじん

- ・登録率は 86.2%、施設入所で 5 名の解約者があったが、柔軟な受け入れ態勢を確保することで利用率の向上に努めた。平均年齢は 82.0 歳、平均要介護度等は 1.5。

#### ホーム 38 拠点

- ・実稼働率 61%、当期末日登録率については 95%。
- ・下期については日中支援型サービスへの移行がされないために事業収入の下方修正を実施。(達成率 81.6%) これは秋季以降、情緒障害を起こす利用者の入院によるものである。
- ・施設の特長性を踏まえて、地区社協、自治会等へのアウトリーチを行い、協働体制の確立に向けてのアプローチを実践し、直近では陽南地区文化祭への協賛・支援を行っている。

## 2. 対処すべき課題

### 今市ホーム拠点

#### 特別養護老人ホーム・短期入生活介護

- ・空床を作らず稼働できる対策を図り稼働率の向上を目指す。
- ・下半期入院者数の減少を図れた。引き続き継続を目指す。

#### 訪問介護

- ・利用者、職員の健康状態の把握
- ・サービスの統一化に向けた研修を行う。

#### 訪問入浴

事業休止による。

#### 居宅介護支援事業所

- ・依頼ケース多数で受入れ困難な状況になっているため体制整備が急務。

#### 地域包括支援センター

- ・関係機関との連携を事業や総合相談に適切に活かし、地域課題の把握を行う。

#### 通所介護

- ・新規利用者の確保のため、現時点でのおちあいの空き状況等を進んで居宅介護支援事業所に報告する。
- ・入院による利用減が多いため、疾病の早期発見に努め状態の重篤化を回避することに努め、早期の利用再開ができるよう関係機関との情報共有を行う。

### ひかりの里拠点

#### 特別養護老人ホーム

- ・特別養護老人ホーム稼働率の維持向上（94%目標）。
- ・高齢化に対応した栄養状態改善、褥瘡リスク者の管理、予防の徹底。看取り体制への準備。
- ・介護職員の定着率向上に向けた、教育体制の仕組み、評価表やマニュアルの整備。
- ・キャリア段位制度導入、実施。

#### 短期入所生活介護

- ・短期入所利用率の向上（88%目標）
- ・在宅生活の限界点を引き上げられるようにサービス内容の見直し（生活動作訓練）

#### 通所介護

- ・傾向として、人工肛門・胃瘻・酸素療法・褥瘡の処置など医療的な処置が必要な方、藤原地区、移動に車いすが必要な状態の方の利用が増えている、受け入れできる体制づくりが必要。

#### 居宅介護支援事業所

- ・令和元年度においても、日光市内の居宅ケアマネジャーの不足が継続している状況であり、新規利用者の依頼があっても担当件数調整により受け入れられず他の事業所を紹介することが多かった。介護保険サービスの利用を希望する利用者及びご家族を待たせないように、地域包括支援センターや各居宅介護支援事業所と連携していく必要がある。疾病による早期及び末期がん等の緊急対応ケース、高齢者世帯、独居世帯、その他の要援護の必要な利用者及びその家族が迅速にサービスを利用できる

ように、必要性を見極めた受け入れをしていきたい。更新申請の結果、要支援認定を受けた利用者については地域包括支援センターへ引き継ぎ、要介護認定者を受け入れたい。また、地域包括支援センターからの依頼による困難ケース等も積極的に受け入れ、地域貢献ができるように配慮したい。

#### 認知症対応型共同生活介護（ひなた）

- ・職員の知識向上のため、参加できる研修（施設内・外）には積極的に参加し、他職員と研修で学んだことを共有し、実践に生かせるような働き方を考える。
- ・地域密着型の施設として、地域との共生に対する思いを深め、施設の PR と地域との連携を図るための対策を講じる。

### 晃明荘拠点

#### 養護老人ホーム

- ・安定した経営基盤の確立  
社会的ニーズを把握するため実施機関との情報交換を密にするとともに、処遇困難ケースも可能な限り受入れる。
- ・入居者の状況に即した日常生活自立度の維持向上を図る  
入居者の健康維持を図るため予防的視点でのケアサービスを通年実施するとともに健康体操、栄養指導を継続し日常生活自立度の維持向上を図る。
- ・入居者の生活課題の多様化と複雑化した個別ニーズへの対応  
入居者個別の課題に応じたサービス展開を基本とし、生活習慣が異なる集団生活への支援、自立度が高い入居者へは持つ力を最大限引き出し、秩序ある生活からの自立支援を行う。
- ・職員の専門性を活用した地域貢献、地域活動への参加、交流の推進  
地域福祉のニーズの理解を深め、養護老人ホームの役割を周知し協力関係の構築に努める。

#### 認知症グループホームみょうじん

認知症カフェの運営や認知症の啓発活動、広報、相談支援等にも積極的に取り組んでいる。今後も継続して医療連携や居宅療養管理指導と連携をし、健康管理に努める。

#### 共用型通所介護みょうじん

認知症カフェの運営や認知症の啓発活動、広報、相談支援等にも積極的に取り組んでいる。今後も継続して医療連携や居宅療養管理指導と連携をし、健康管理に努める。

#### 小規模多機能型ホームみょうじん

稼働率、登録者数も順調に推移している。小規模多機能型ホームの通い、訪問、宿泊の特徴を踏まえ、地域に向けた在宅支援を行う。登録者の方々が利用したい時にきちんとサービスを提供できるよう調整を行い、臨機応変な受け入れをする。

### ホーム38拠点

- ・精神障害者の利用が95%、スタッフの対人援助スキルが不十分により関係障害を起こすケースが多数確認される、精神疾患の特性を踏まえた対人援助スキルの習得が急務とされる。
- ・目標収益に到達せず、次期事業資金の捻出が難しい状況にある。特に就労系事業においては利用者の疾病特徴から稼働率の変動が予測され、経営を意識した運営体制の確立を図る。

### 3. 法人事業実施状況

月	内容	月	内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーム38開設</li> <li>・日光市訪問給食、生活支援ホームヘルプ運営事業委託契約</li> <li>・日光市要介護認定調査業務委託契約</li> <li>・日光市短期宿泊事業業務委託契約</li> </ul>	10月31日	・第154回理事会
5月27日 30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度決算監査</li> <li>・第150回理事会</li> </ul>	11月	
6月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時評議員会</li> <li>・第151回理事会</li> </ul>	12月	
7月26日	・ひかりの里増築に伴う工事指名入札	1月	
8月27日	・栃木県実地指導監査	2月	
9月6日 9月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第152回理事会</li> <li>・第153回理事会</li> </ul>	3月26日	・第155回理事会

### 4. 理事会開催状況

日時	項目	議事内容
5月30日	第150回理事会	事業報告 決算並びに監事監査報告 充実残高 役員選任 各種規程改正 ひかりの里増床に係る入札 晃明荘の日光市からの譲渡 介護福祉士就学資金貸付制度利用への保証人設定 定時評議員会開催
6月28日	第151回理事会	理事の選定並びに業務執行理事
9月6日	第152回理事会	東京都足立区における特別養護老人ホーム整備計画申請 東京都足立区における特別養護老人ホーム整備計画資金 設計事務所の選定
9月27日	第153回理事会	給与規程変更
10月31日	第154回理事会	上半期事業報告 第一次補正予算(案) 上半期決算 養護老人ホーム晃明荘日光市からの譲渡 栃木県実地指導監査報告
3月26日	第155回理事会	第二次補正予算(案) 事業計画(案) 晃明荘道路拡張に伴う補償並びに垣根撤去及びフェンス工事 資金収支計算書 経理規程変更 外国人留学生介護福祉士等就学資金借り入れ保証人

5. 拠点施設事業実施状況（ボランティア・実習受入れ・地域貢献活動等）

拠点	日時	実施内容
今市ホーム	7月2日	落合中学校3年生ふれあい訪問
	7月27日	納涼祭
	8月19日	職員体験研修 1名(今市特別支援学校)
	9月6日	落合中学校1年生ふれあい訪問
	10月7～18日	今市特別支援学校実習1名
	10月7～23日	介護職員初任者研修講座実習4名
	12月18日	落合児童館慰問
	月1回	音楽クラブ
	隔月1回	なかよしクラブ
	不定期	らくらくピアノ
ひかりの里	4月10日	大昌電子(新入社員研修)4名
	5月26日	ひかりの里PRイベント
	6月～9月	三幸福祉カレッジ実務者研修(会場提供)
	7月6日	東町お神輿
	7月23日	今市高校実習8名
	9月2～13日	栄養士実習2名(佐野短期大学)
	9月30日	介護授業指導派遣2名(特別支援学校)
	2月2日	100人鍋パーティー(日光子ども応援隊)福祉体験ブース
	月2回(金)	ありのまま(傾聴ボランティア)
	月1回	音楽クラブ
晃明荘	7月2日	落合中学校ふれあい訪問受け入れ
	9月6日	落合中学校ふれあい訪問受け入れ
	9月28日	楽団ニスモ(オーケストラ)
	毎月第2(木)	音楽ボランティア
	毎月第2(火)	傾聴ボランティアありのまま
	毎月第1,3(木)	クリーンパートナー
	5月15日	ボランティアによるマジックショー開催
	6月6日	運営推進委員による敷地内の草刈り
	7月2日	落合中学校福祉ふれあい訪問
	7月26日	長寿会による敷地内草刈り
	8月3日	長寿会による敷地内除草剤散布
	8月6日	ボランティアによるギター弾き語り
	9月6日	落合中学校ふれあい訪問
	9月25日	ボランティアによるマジックショー開催(敬老会)
	9月29日	楽団ニスモ日光(ボランティア音楽会)
	10月8日	日光東中学校ふれあい訪問受け入れ
	10月17日	園遊会(ボランティアの方へ感謝を込めて)
	10月27日	歌や踊りのボランティア(個人)
	11月1日	落合西小学校ひいらぎ発表会見学
	12月12日	長畑幼稚園交流会
2月14日	明神長寿会交流会	
ホーム38	9月15日	陽南地区文化祭協賛

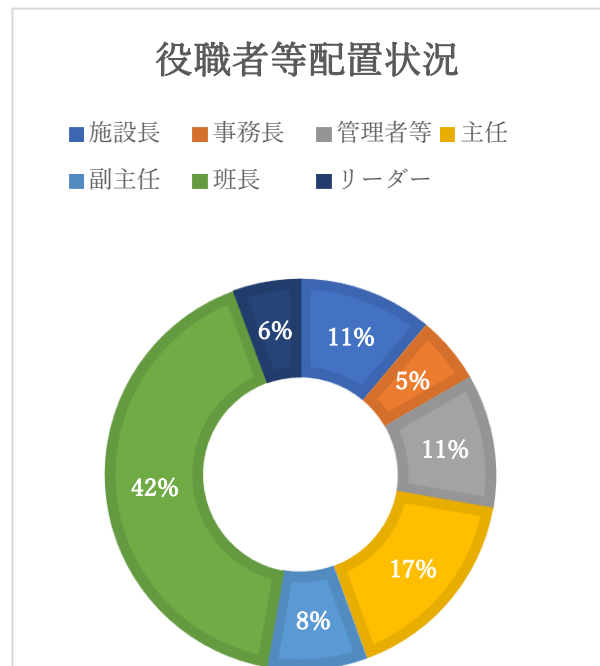
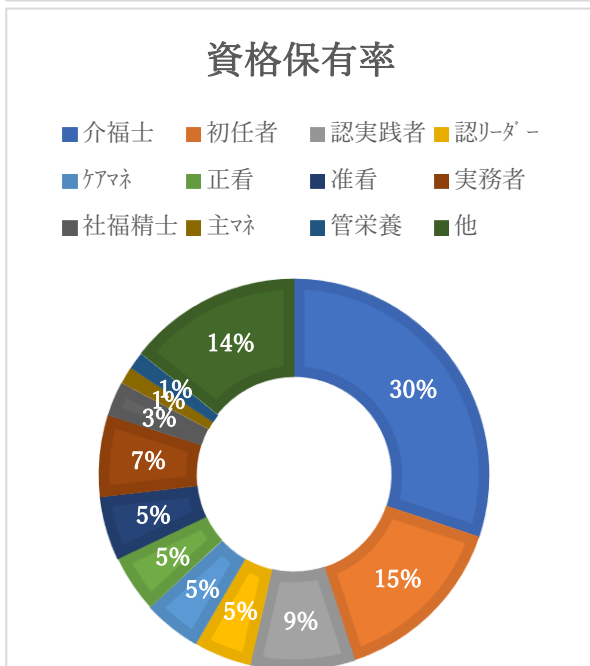
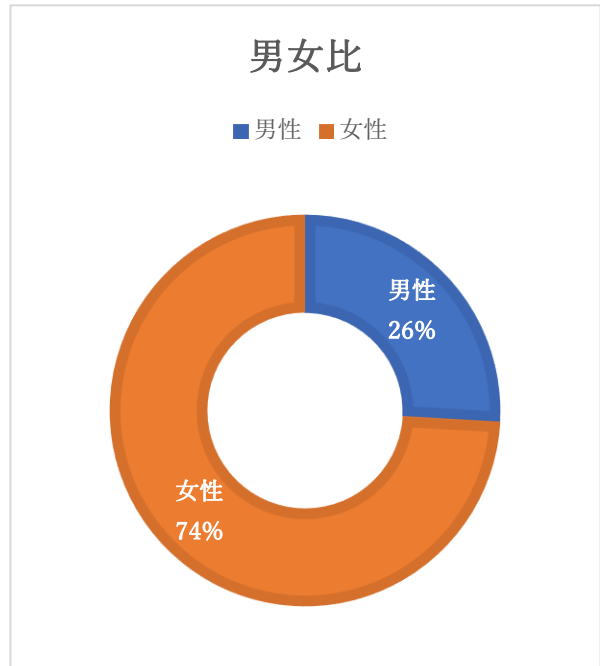
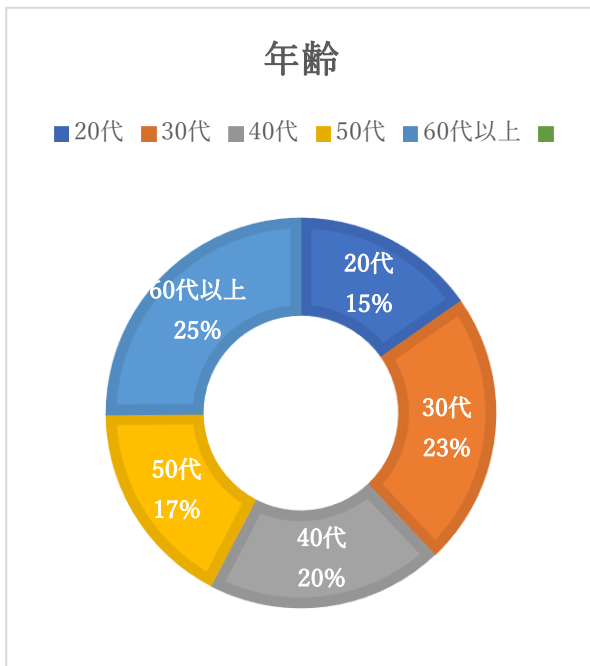


6. 防火・防災対策等の実施状況

拠点	日時	実施内容
今市ホーム	5月23日	総合訓練実施(日中想定)
	1月30日	総合訓練実施(夜間想定)
ひかりの里	7月18日	総合訓練(夜間想定)
	12月3日	消防設備点検(佐藤商事)
	2月24日	総合訓練(日中想定)
	月1回	消防用設備等自主点検
晃明荘	6月7日	晃明荘消防避難訓練
	6月10日	小規模多機能型、認知症グループホームみょうじん消防避難訓練
	12月10日	避難訓練(水難避難みょうじん・晃明荘合同訓練)
ホーム38	5月9日	総合訓練実施 宇都宮市南消防署による実地調査
	2月27日	消防設備点検(佐藤商事) 通報訓練

## 7. 職員の状況

### (1) 職員基礎データグラフ



#### 障害者雇用状況

3人（発達障がい 統合失調症 視覚障害）

#### 外国人雇用状況

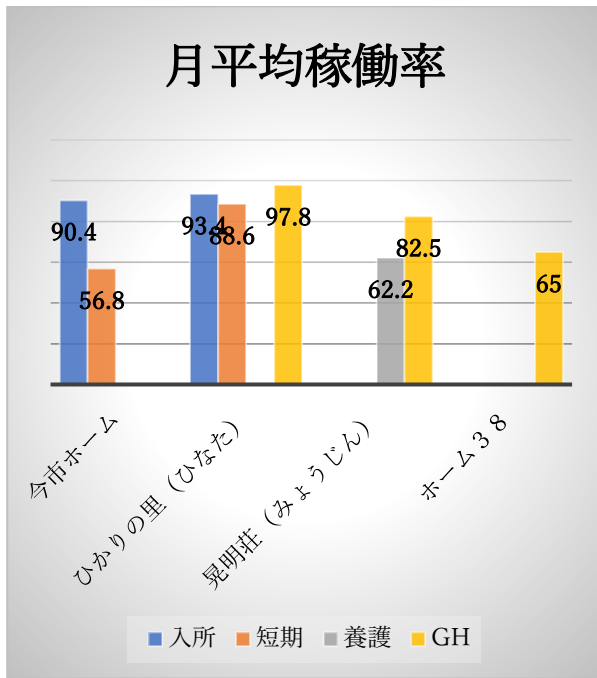
1人（スリランカから高度専門職での就労）

### (2) 職員の採用状況等

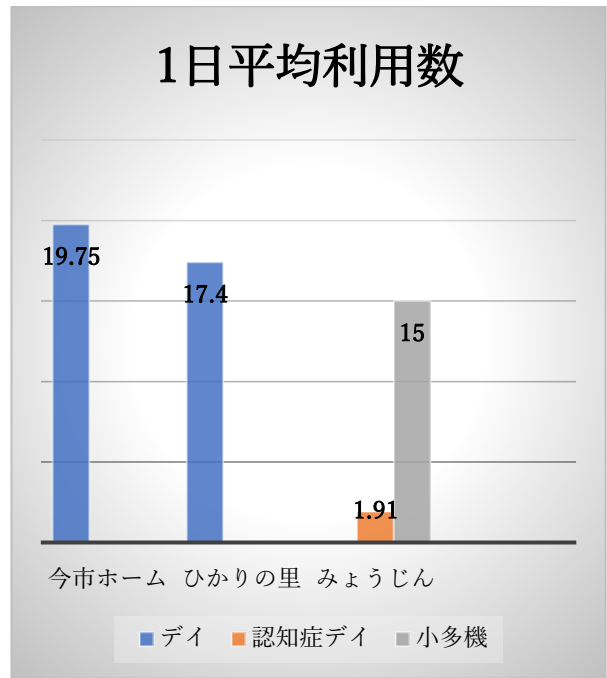
拠点	採用数	離職率	平均勤続年数	平均年齢	平均有給日数
今市ホーム	10名	12.7%	6年9か月	50.2歳	9.8日 5.7時間
ひかりの里	14名	17.5%	5年7か月	46.9歳	7.5日 1.0時間
晃明荘	6名	3.9%	6年4ヵ月	46.8歳	8.7日 1.8時間
ホーム38	1名	12.5%	4年1か月	38歳	5.5日 6.5時間

8. 利用者の状況

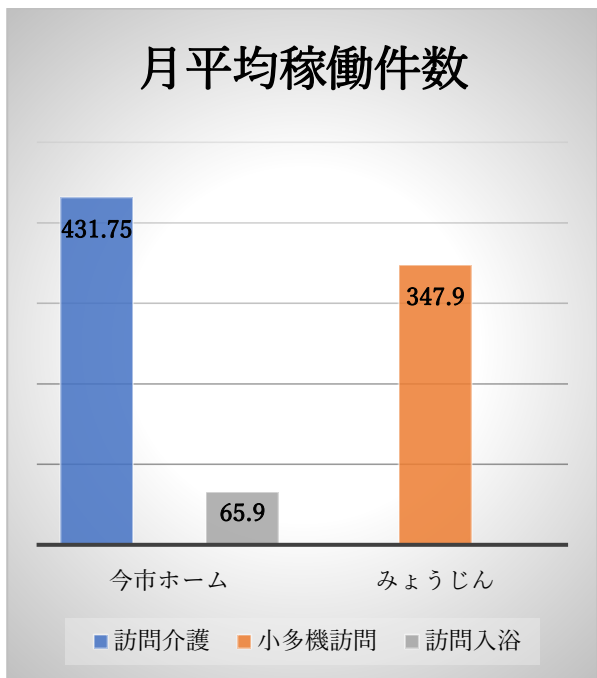
(居住系)



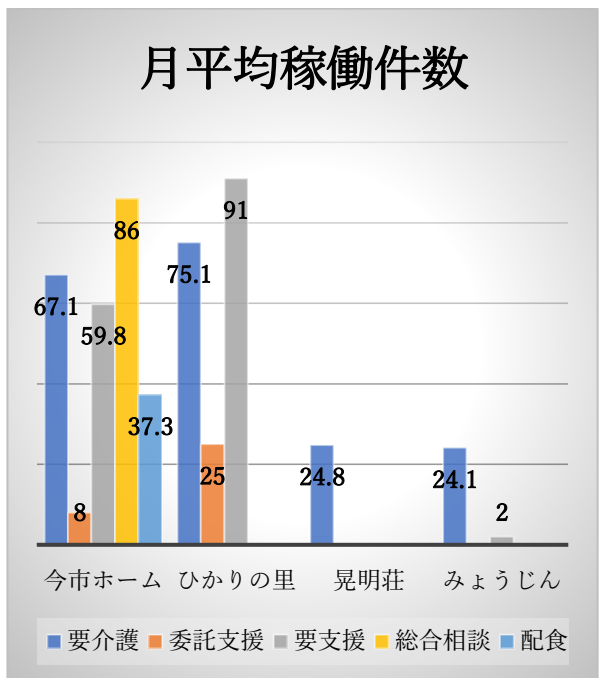
(通所系)



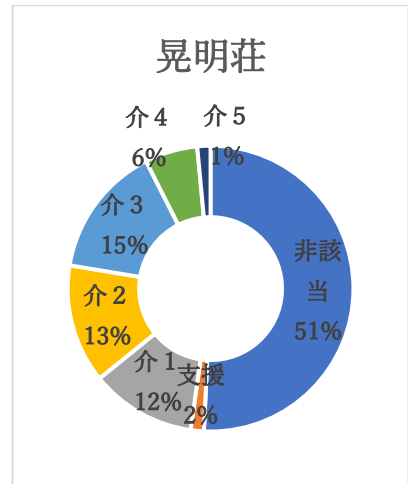
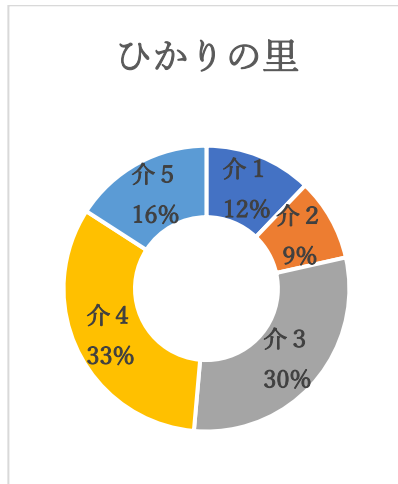
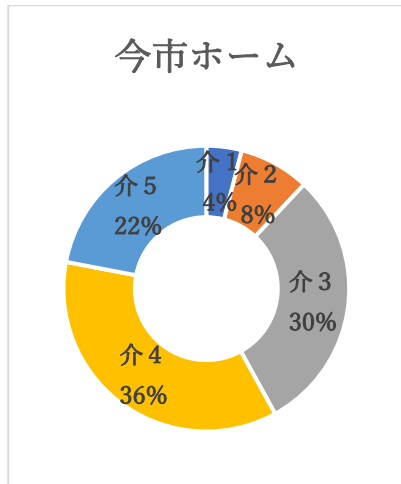
(訪問系)



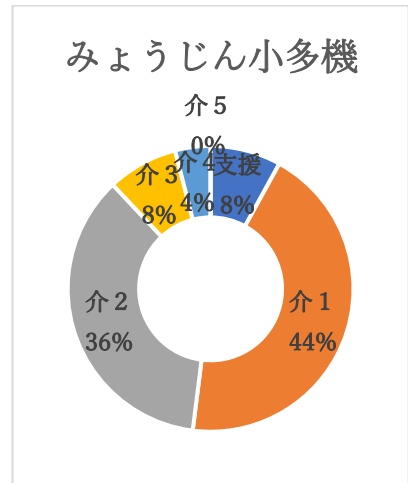
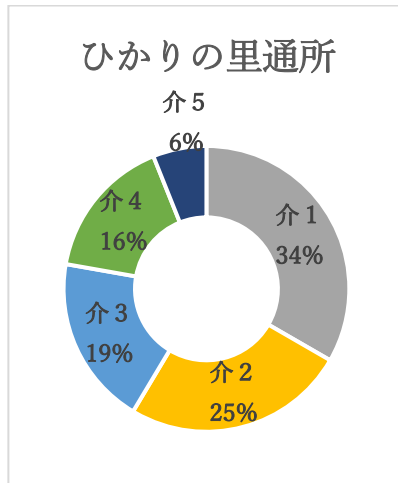
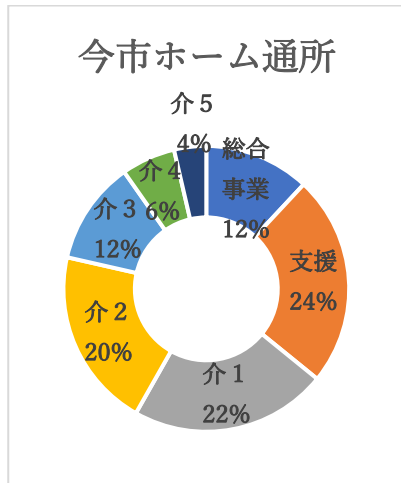
(ケアマネジメント・地域包括支援センター等)



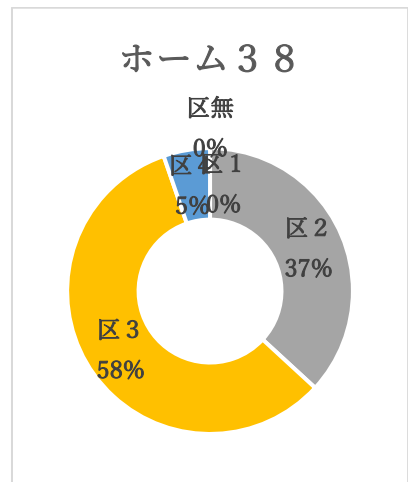
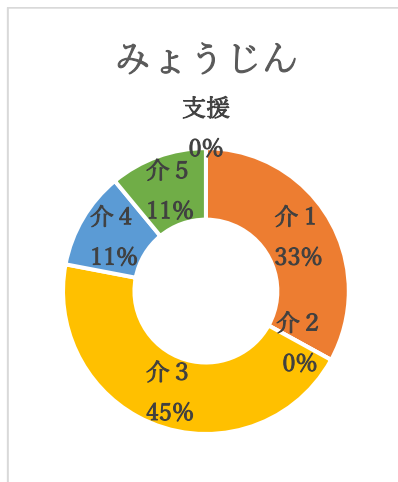
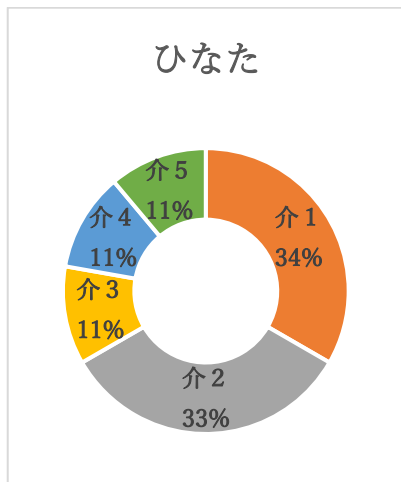
状態像入所系



状態像通所系



状態像グループホーム系



9. 事故等発生状況

事故レベル	定義	今市ホーム	ひかりの里	晃明荘	ホーム38
ヒヤリハット	事故未満	38	9	9	2
レベル1	受診の必要なしまたは、予後の経過観察	45	79	84	6
レベル2	受診の必要あり、結果処置無し	8	0	4	0
レベル3	受診の結果、概ね全治14日程度	0	4	2	0
レベル4	全治14日以上または、入院加療を要する	0	3	8	0
レベル5	事故による死亡、または重篤な障がいが残存する	0	0	0	0

10. 老人福祉法・介護保険法・総合支援法による報告事案

拠点	発生日時	事故内容	対応
今市ホーム	無し		
ひかりの里	6月2日	夜間、居室にてベッドより転落。右頭部裂傷。	病院受診、15針縫合処置
	6月28日	日中、リビングにて歩行中転倒。後頭部裂傷。	病院受診、5針縫合処置
	9月13日 (ひなた)	夜間、居室にてベッドより転落。後頭部裂傷。	病院受診、5針縫合処置
	11月14日	日中、居室ベッドより転落。第1腰椎の圧迫骨折	病院受診、骨粗鬆症治療開始
	1月6日	日中、居室にて車いすより転落。頭部外傷。	病院受診。
	2月26日	夜間、居室入口付近で転倒。右大腿骨頸部骨折。	病院受診、入院。
晃明荘	4月23日	サービス提供中のケガ	病院受診後入院
	5月15日	腰部の痛みがあり病院に受診	病院受診後入院
	9月22日	職員への暴力行為	行政との事実確認
	10月14日	廊下歩行中にて転倒。右大腿骨転子部骨折。	病院受診、手術が必要な為、転院。
	11月22日	看護室の椅子より転落。第9胸椎骨折。	当日病院受診し異常なしの為帰荘。12月6日痛みが軽減されないとのことで、再受診し安静が必要となり入院。
	12月7日	サービス提供中のけが	病院受診し右大腿骨頸部骨折・腎盂炎・心不全の為入院。

	12月16日	トイレから出る際転倒し、上腕骨頸部骨折	病院受診しリブバンド固定
	2月8日	夜間、居室ベッドより転落。右大腿骨部骨折。	病院受診後入院。
	2月20日	食堂内歩行中にて転倒。第12胸椎圧迫骨折・第1.2腰椎圧迫骨折	病院受診後入院。
ホーム38	なし		

11. 感染症等発生状況

拠点	発生日時	終息日	内容・対応
各拠点	発生無し		